



2022年9月6日

各位

会社名 くら寿司株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 邦彦
(コード番号 2695 東証プライム)
問合せ先 取締役経理本部長 津田 京一
(TEL. 072 - 493 - 6189)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年12月7日に公表致しました2022年10月期の通期連結業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想20円の変更は予定しておりません。

1. 連結業績予想について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	188,869	2,827	4,955	2,878	72.63
今回修正予想(B)	182,477	△902	2,567	884	22.26
増減額(B-A)	△6,392	△3,729	△2,388	△1,994	—
増減率(%)	△3.4	—	△48.2	△69.3	—
(ご参考) 前期実績 (2021年10月期)	147,592	△2,678	3,174	1,901	47.98

2. 修正の理由

当社は、お客様と従業員の安全を第一に考え、自動会計やセルフレジなど入店から退店までお客様が従業員と接することなく飲食できる「スマートくら寿司」を全店で設置完了するなど「ウィズコロナ」への対応を積極的に進めております。

2021年12月7日時点においては新型コロナウイルス感染症収束の兆しがみられ、感染再拡大を考慮しておりませんでした。国内において2022年1月～3月に再拡大からまん延防止等重点措置による営業時間の制限を受け、2022年6月以降には、第7波の急速な拡大による人流減少が続き、特に最需要期である7月、8月の来店客数が当初計画に比べ大きく減少し、今なお人流減少が続いていることから、売上高が予想を下回る見込みとなりました。

また、売上高の減少に加え、地政学的リスクの上昇に伴う食品価格、エネルギー価格などのコスト上昇もあり収益についても当初の想定を下回る見込みとなりました。

当第4四半期会計期間以降においては、海外事業については堅調な推移を見込んでいるものの、日本においては新型コロナウイルス感染拡大による影響や、コスト上昇について不確実な状況にあり、上記の通り2021年12月7日に公表した業績予想を修正致します。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。